

2016 年度

大阪大学大学院人間科学研究科修了生 及び
人間科学部卒業生の生活と意識に関する調査結果

2017 年 3 月 22 日 実施

回収数 188 (卒業・修了者計 267 名)

(アンケート用紙は末尾に添付)

大阪大学大学院人間科学研究科 評価委員会

このアンケート調査は、本学部卒業生および本研究科修了生の在学中の生活と意識を明らかにするために行われた。アンケート用紙は平成28年度卒業式当日(2017年3月22日)、人間科学部本館51教室で開催された学位授与式において式の出席者に配布され、室内で記入、退室時に回収された。

アンケートは学生自身、学生生活のこと、大学教育や学生支援、本学部・研究科に関する事項等、23の質問項目から構成されている。

以下、アンケートの設問順に各問の集計結果を図表で示す。

問1. 性別

表1 回答者の性別

	人数	%
1. 女性	97	51.6
2. 男性	91	48.4
計	188	

問2. 卒業、修了の内訳

表2 回答者の卒業・修了内訳

	人数	% [*]
1. 人間科学部	101	37.8
2. 大学院人間科学研究科 博士前期課程	66	24.7
3. 大学院人間科学研究科 博士後期課程	20	7.4
無記入	1	0.3
計(2016年度卒業・修了者数)	188(267)	70.4(100)

*全卒業生・修了者数に対する回答者数の割合

問3. 所属学科目／学系

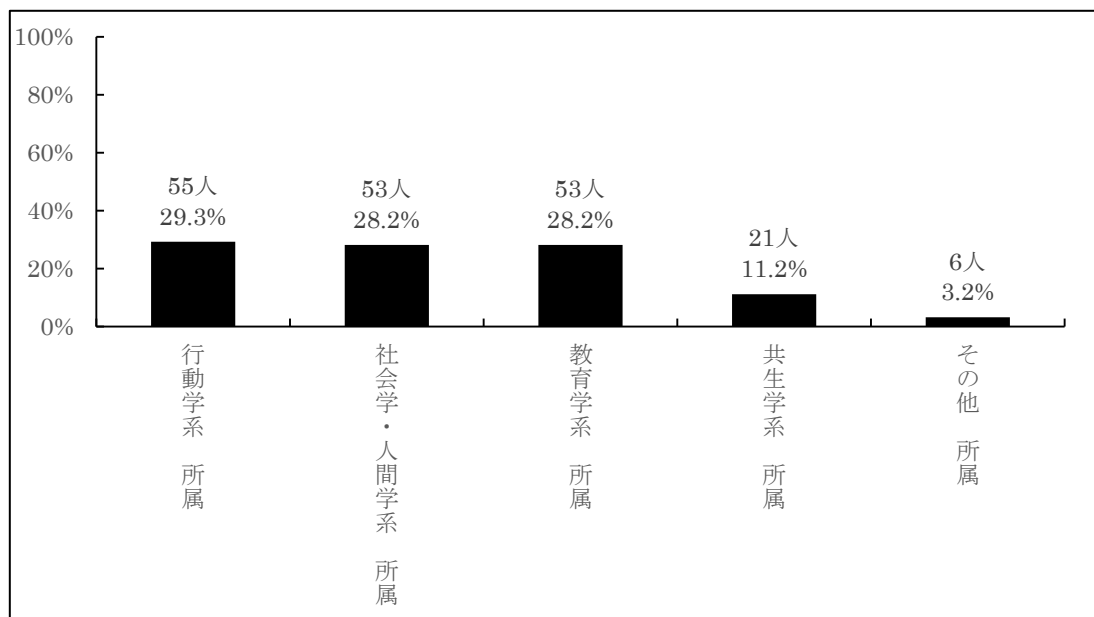


図1 所属各科目／学系の内訳

問4. 卒業・修了後の進路

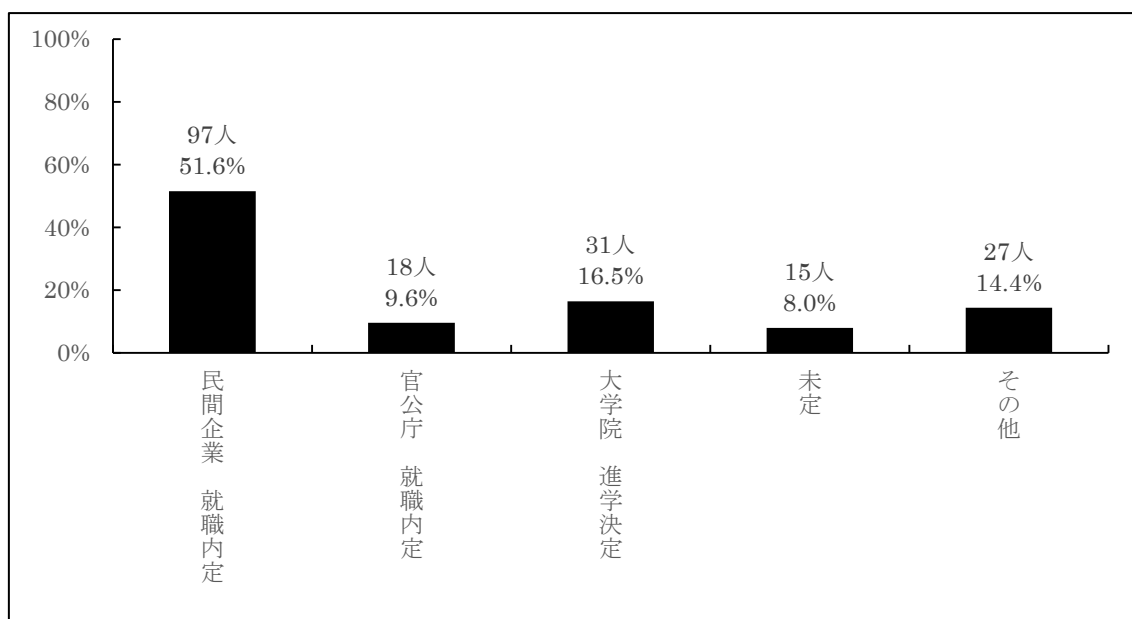


図2 卒業・修了後の進路

学生生活または院生生活について

問 5. 学科目を定める時の情報について（学部卒業生のみ）

表 3 学科目の情報について

	人数	%
1. 十分与えられた	40	39.6
2. まあ与えられた	49	48.5
3. あまり与えられなかった	10	9.9
4. 全然与えられなかった	0	0.0
計	89	

問 6. 学科目の選択理由（学部卒業生のみ／複数回答可）

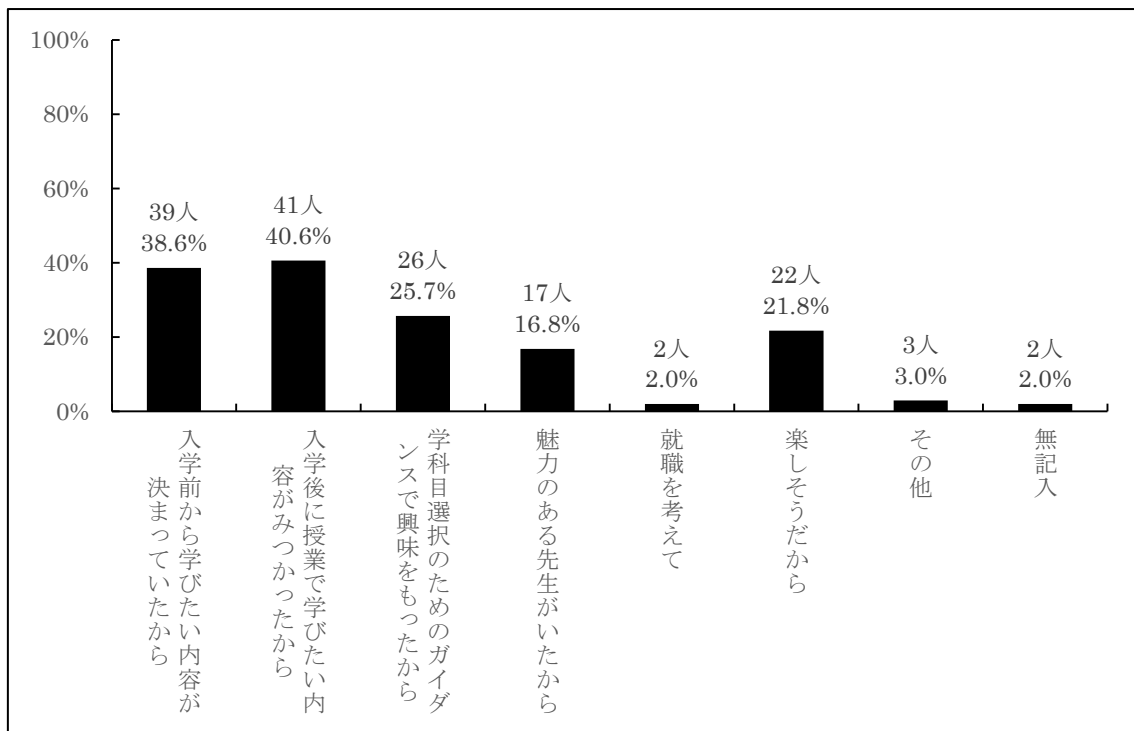


図 3 学科目の選択理由について

問7. 学生（院生）生活で力を注いだ活動事項について

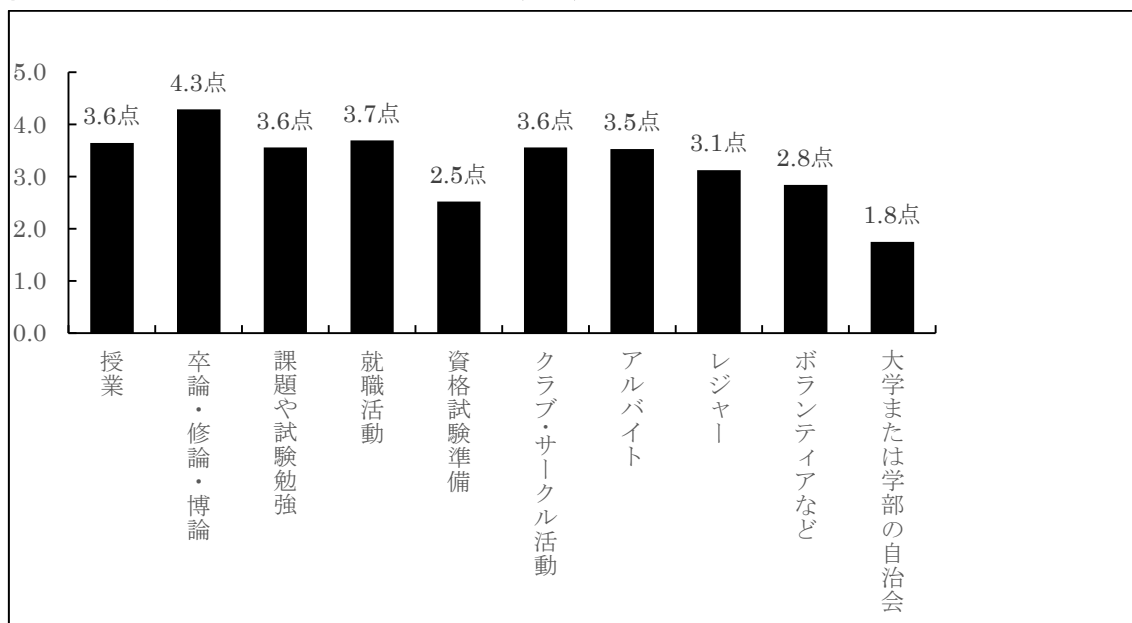


図4 学生（院生）時代に力を注いだ活動事項

図4は学生／院生生活における10の活動事項に関して、それぞれの程度力を注いだかについて評定を求めた結果の平均値である。「非常に力を注いだ」を5点、「まあ力を注いだ」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり力を注がなかった」を2点、「力を注がなかった」を1点とした。平均値が高いほどその活動に対し力を注いだと評定されたことを意味している。

全学共通教育（豊中キャンパス）のカリキュラムについて

問 8. 「専門基礎教育科目（統計学 A-I、数学 A・B）」の必要性について（編入生を除く学部卒業生のみ）

問 8 は編入生を除く学部卒業生のみが回答。該当者は 101 名。

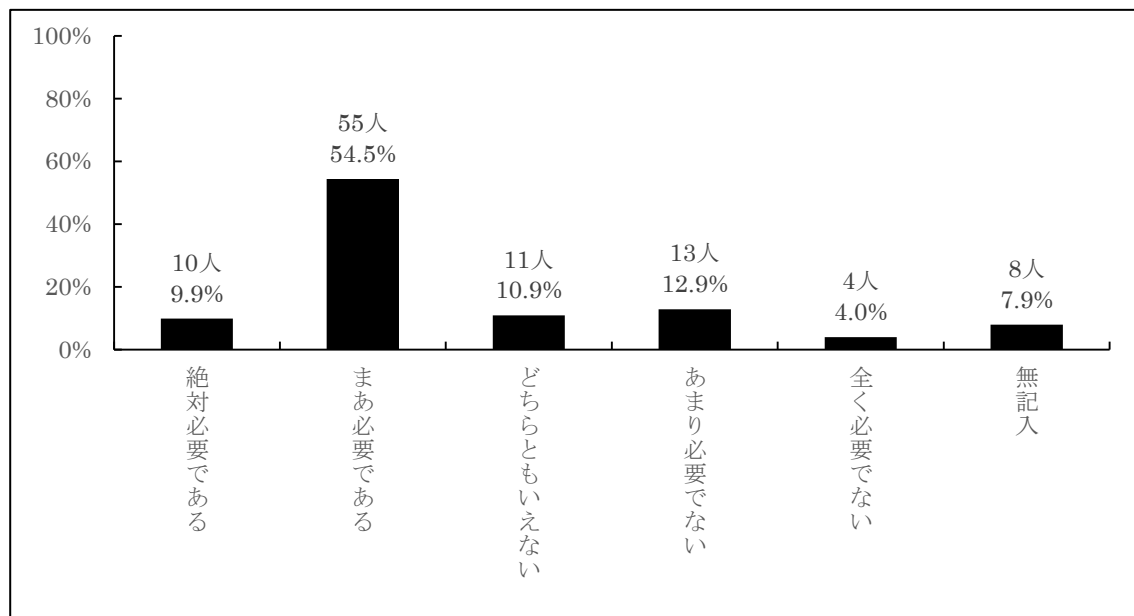


図 5 「専門基礎教育科目」の必要性について

専門課程（吹田キャンパス）のカリキュラムについて

問 9. 卒業する為に、卒業論文または修士論文が必要になっていることについて

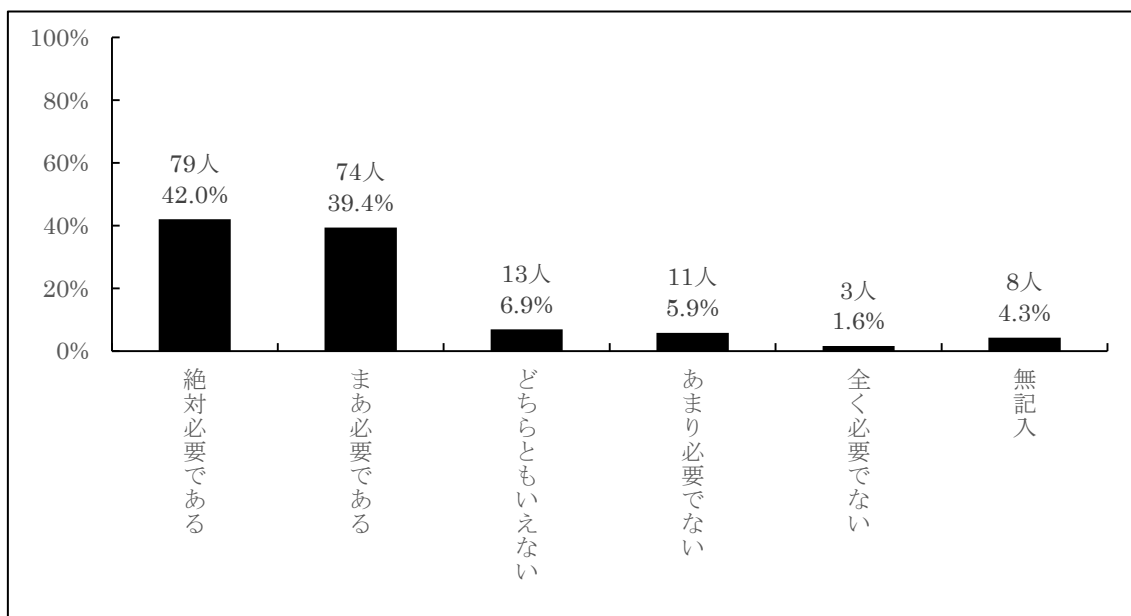


図 6 卒業論文または修士論文について

問 10. 本学部または本研究科で身に付いたこと（複数回答可）

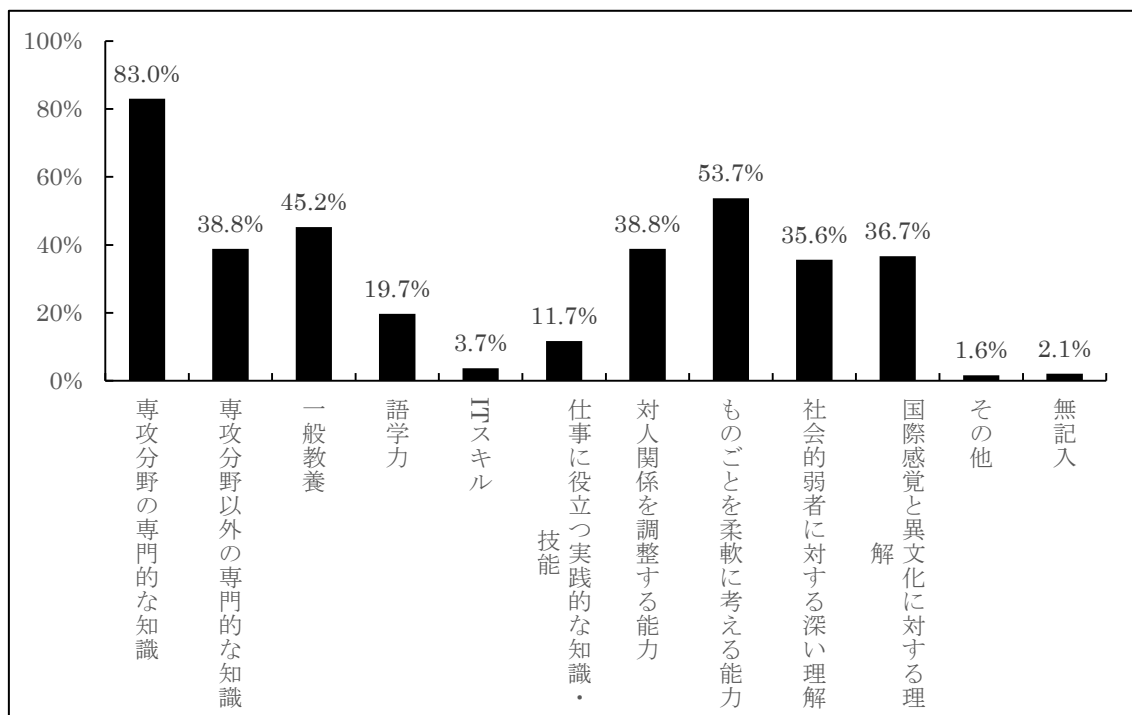


図 7 身に付いたことについて

問 11. 本学部または本研究科でもっと身に付けられると良いと思うこと（複数回答可）

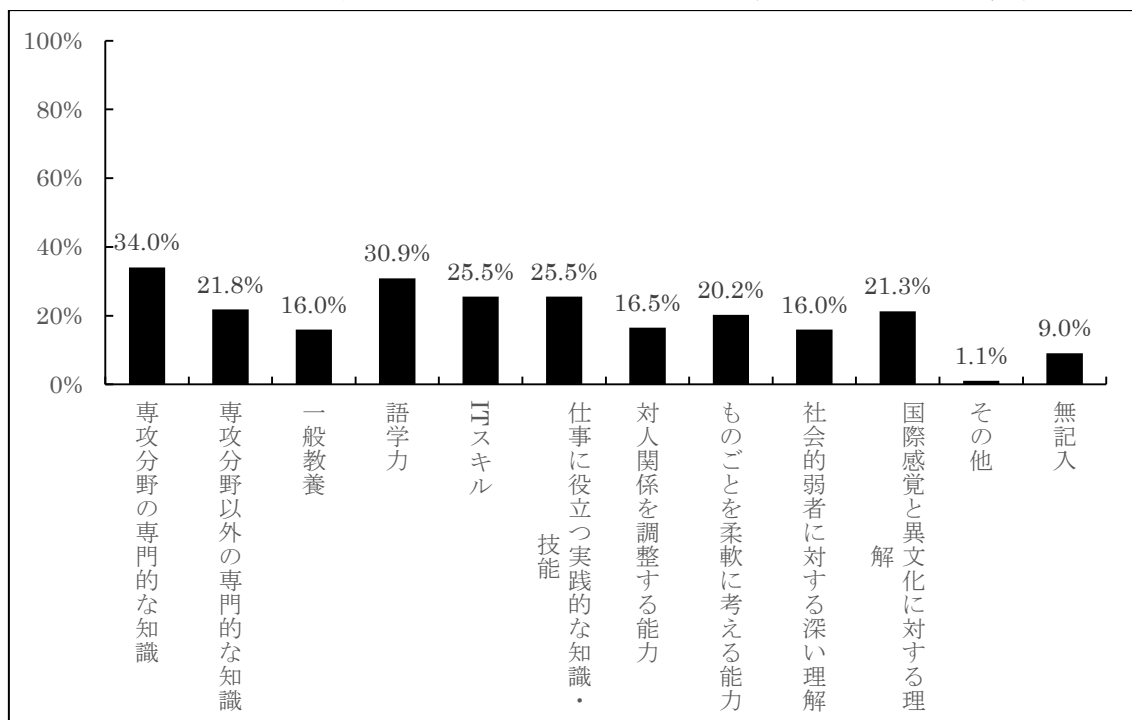


図 8 もっと身に付けられると良いことについて

インターンシップについて

問 12 . 在学中、インターンシップに参加した状況

表 4 インターンシップ参加状況

	人数	%
1. 参加した	85	45.2
2. 参加しなかった	92	48.9
無記入	11	5.9
計	188	

問 13 . 参加した学年（参加した学生のみ／複数回答可）

問 13 はインターンシップに参加した人のみ回答（該当者 101 名）。

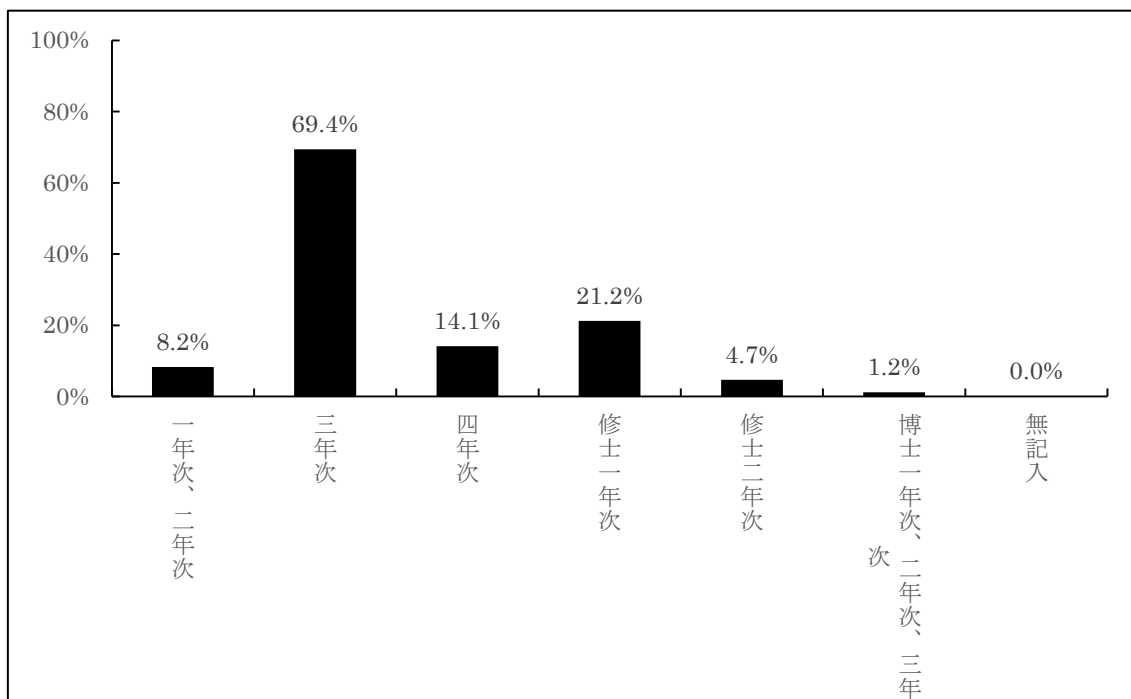


図 9 参加した時期について

就職活動について

問 14～17 は就職活動をした人のみ回答（該当者 147 名）。

問 14 . 就職活動にあたって、役に立った（重要だった）ものを順に2つ選んでください
（就職活動した学生のみ／2 項目選択）

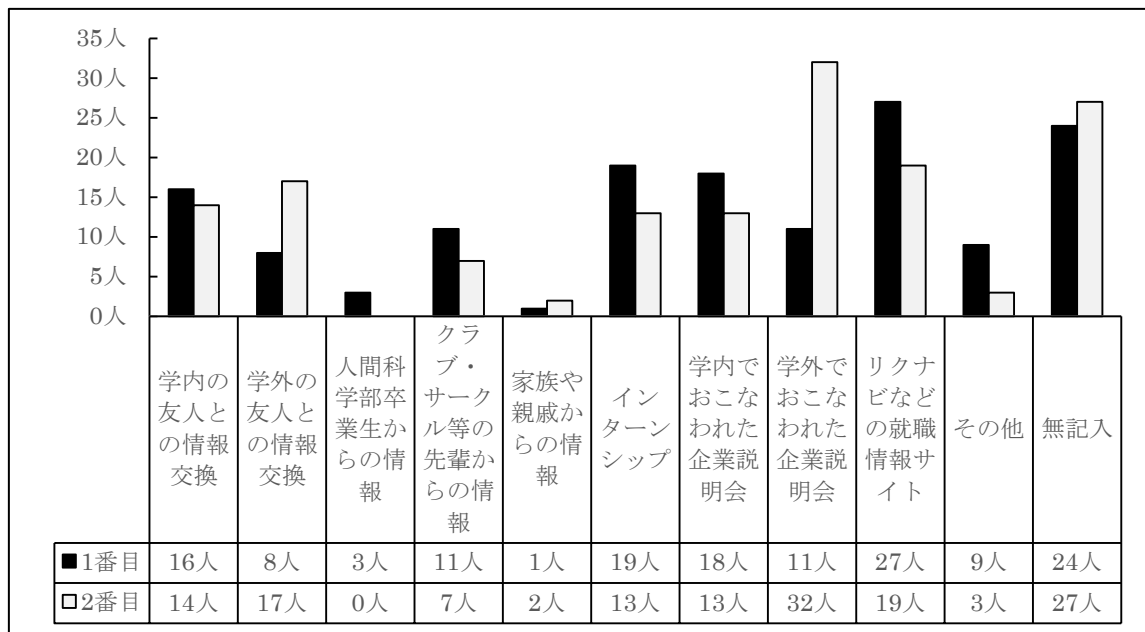


図 10 就職活動で役に立ったものについて

図 10 は就職活動における 9 の事項に関して、役に立った（重要だった）順に 2 つ選択してもらいグラフ化したものである。事項ごとに、黒の縦棒は 1 番目に選択、白の縦棒は 2 番目に選択した人数を示し、数を表記している。

問 15 . 就職活動が一番忙しかった時期（就職活動した学生のみ）

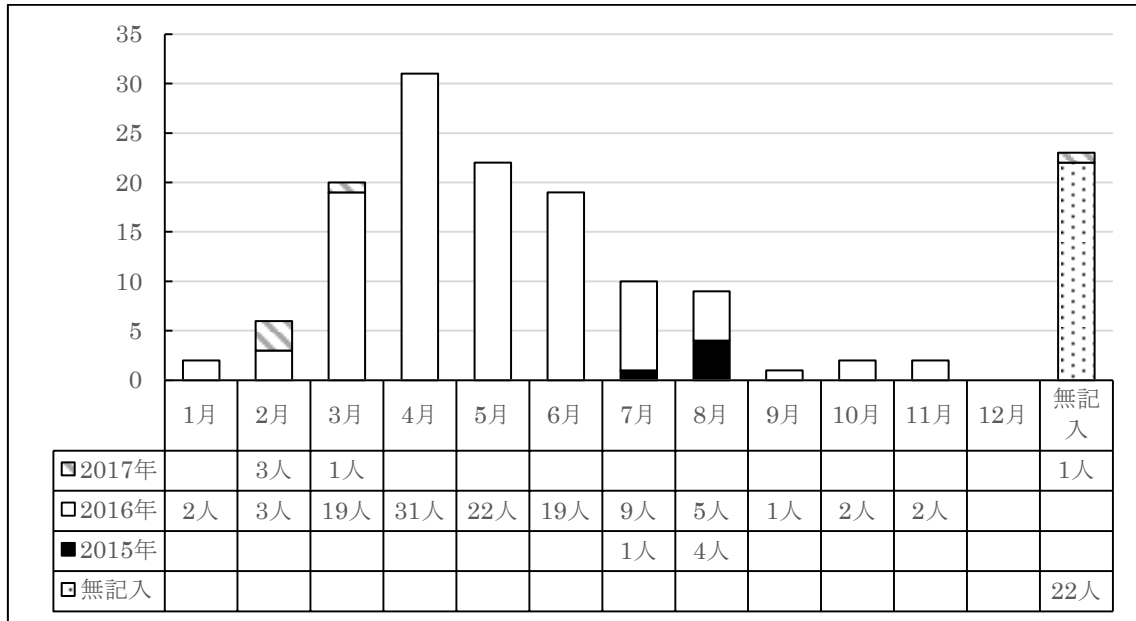


図 11 就職活動で忙しかった時期について

問 16 . 就職活動と学業の両立に困難を感じたか（就職活動した学生のみ）

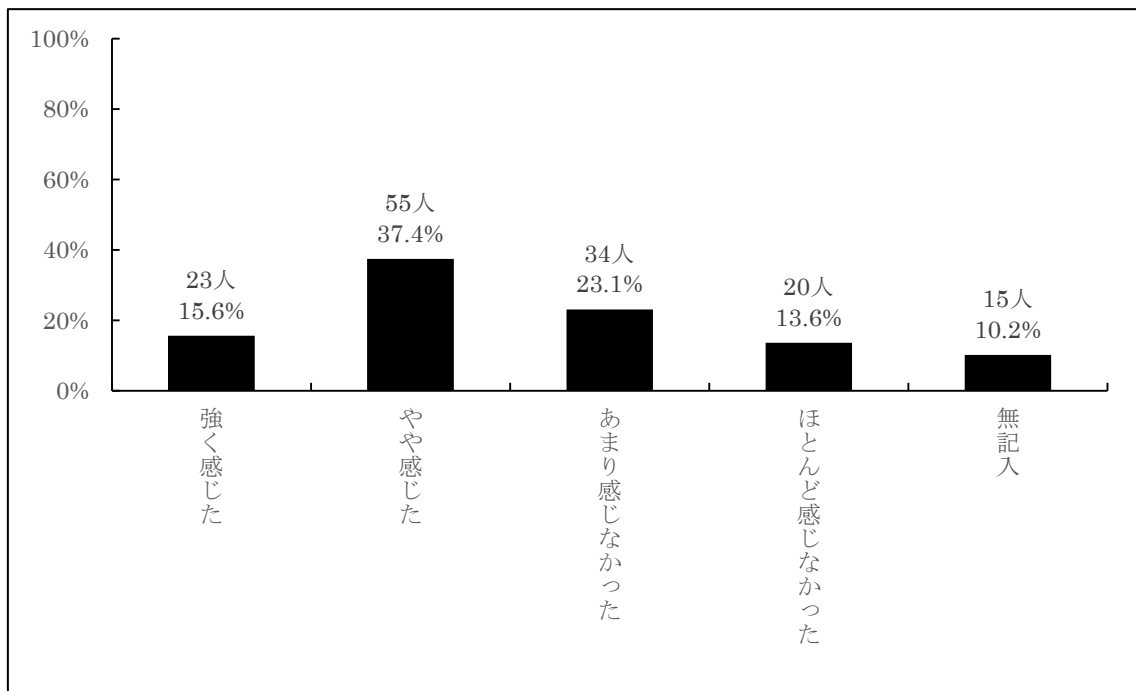


図 12 就職活動と学業両立の困難について

就職活動・進路指導・学生支援に対する要望について

問 17・18 は自由記述欄に記入された内容を記す。

問 17 . 就職活動や進路決定を振り返ってみて、本学部・本研究科に希望する支援について

回答者 55 名

説明会・支援等についての要望

- 各地方で利用できるラウンジ。(最近できたらしい)
- 学生支援の存在をもっとアピールしてほしかったです。
- 法学部で公務員説明会が行われていることが多いので情報を共有してほしい。
- 出席免除
- 教員採用試験対策の窓口
- 公務員試験の情報
- E S の指導など
- 企業を誘致しての学部限定の合同説明会。(心理的ハードルが低く、キャリアがよりよくなると考える)
- 教員との話し合い。
- 学内説明会を充実させてほしい
- 学割の発券がもう少しとりやすいといいと思う。とくに東京に行くことも多いので…。
- キャリア相談
- 就活塾みたいなのがあると嬉しかったです。
- 金銭的支援 (官庁訪問時にかなりのお金がかかったので、内定を取れたらいくらか補助してほしい)。
- 卒業研究 (夏以降) で慌てないような事前 (主に 3 回生) の指導。
- 学内セミナーの充実
- 面接対策
- 各地にある阪大オフィスの利用を促してほしかった。
- 文系向けの就職・面接講座
- 3 月のみならず説明会を開催して頂けたらと思います。
- 教員採用試験対策がなかったので、外部講師を招くなどして充実させてほしいです。
- インタシッパへの参加
- 就活のスケジュールのアドバイス
- 心理系以外の公務員の説明会をしてほしい。
- 首都圏への移動による金銭的困難解消のための支援

- 博士後期生はそもそもの情報量が少なすぎる。ポストクだと更に厳しい。
- 首都圏へ行く際の授業の欠席について
- 私学のように無料でなくても良いので、東京での就職支援スペース（荷物預り、化粧直し、情報共有などできる場所）があると助かったと思います
- 就職活動での授業欠席に対する理解が教授からえられなかった。
- 首都圏での就職活動の交通費・公務員講座、吹田でも開講

OB・OGについての要望

- OBともっと簡単につながる手段
- 卒業生の進路をもう少し詳しく公開すれば参考になったと思う
- OBの卒業生の紹介、仕事の生の声を聞きたいときのネットワークがもっとほしかった
- 就活で病気になった時に、「頑張り」よりも、うまくいかなかった（内定なしで卒業した）人がどうなったかの情報があれば、もう少し楽になったかなあとと思います。
- 同様な進路の人がつながれるしくみ。

問18 . 就職活動以外の面で、本学部・本研究科に希望する支援について

回答者 54 名

- 大学院生への経済的援助・非常勤講師（学外）の紹介（可能であれば）
- 卒業できるかの確認をする機関
- 卒業要件が分かりにくいので、もっと分かり易くして欲しいです。
- 学生同士の交流会
- 単位の計算してくれるシステムがほしい
- 大学院進学に関する情報提供、進学者が少ないからか、充実していない。
- 単位が取れない学生の支援、卒業が危うい学生の支援
- 発達障害者対応
- 編入、院から外部入学の人に対する情報提供
- 東京進出支援
- 研究の相談ができる窓口、文章の書き方、校正ができる窓口
- 留学の支援
- 経理、財務のスキル支援
- より働きかけてくるようになればもっと今ある支援が活用されるようになると思う
- 学科間のコミュニケーションの機会。（学際的を謳っている割にはあまり学際性を感じなかった）
- 積極的な国際交流の提供

- 学生間で情報交換できる場
- 特に院生は研究室の人間関係が大きく影響するので、もっと相談できるとよいと思う。
- 部活への支金援助、節電をやめる、特にトイレ
- 資格等についての講座案内の充実
- 心理的サポートに関するもの
- より沢山の有名企業からのイベントや特別選考案内
- スポーツ推進の機関
- 災害時のボランティアなどに関する単位・金銭面での補助
- 生活面の支援
- 先輩と後輩の交流会
- レポートやちょっとした研究のなやみを相談することができるスタッフ先生に相談するのはアポ取り等、敷居がやや高いので
- 1カ月でもいいから強制的に留学させるなど、グローバルに目を向ける機会を与える。
- アカポスに関する情報を一覧的に見られるもの。

本学部または本研究科に対する総合的な意見について

問 19 . 総合的に判断して、本学部・本研究科は満足できるものでしたか

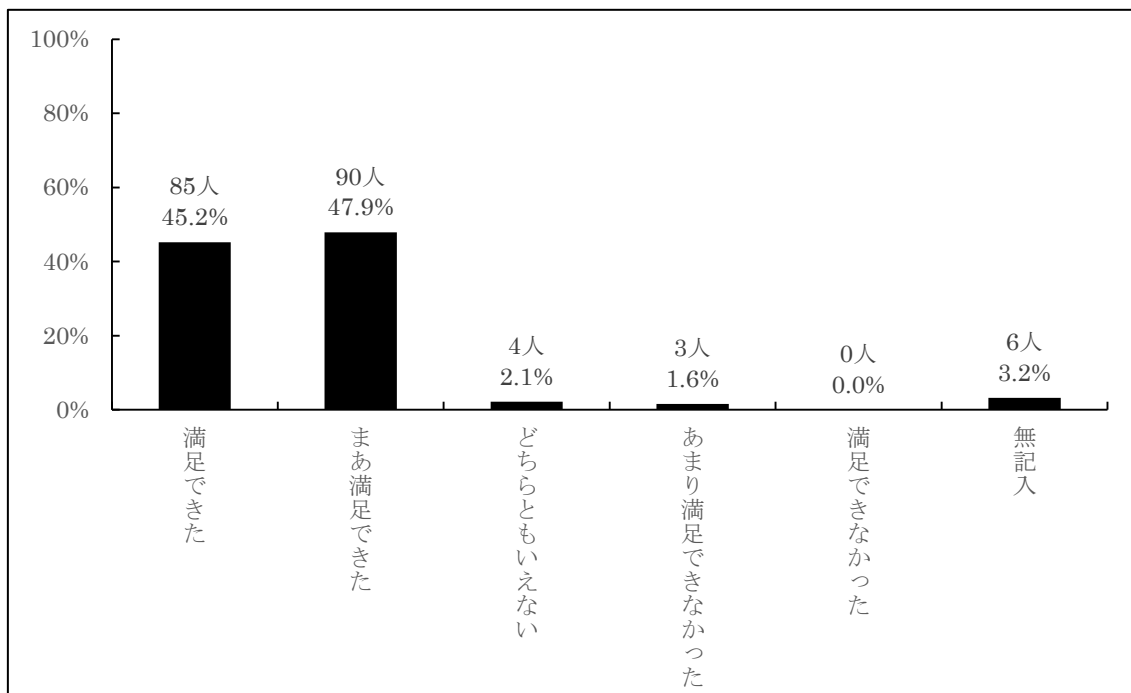


図 13 総合的な満足度について

問 20 . 本学部・本研究科キャンパスの施設・設備は満足できるものでしたか

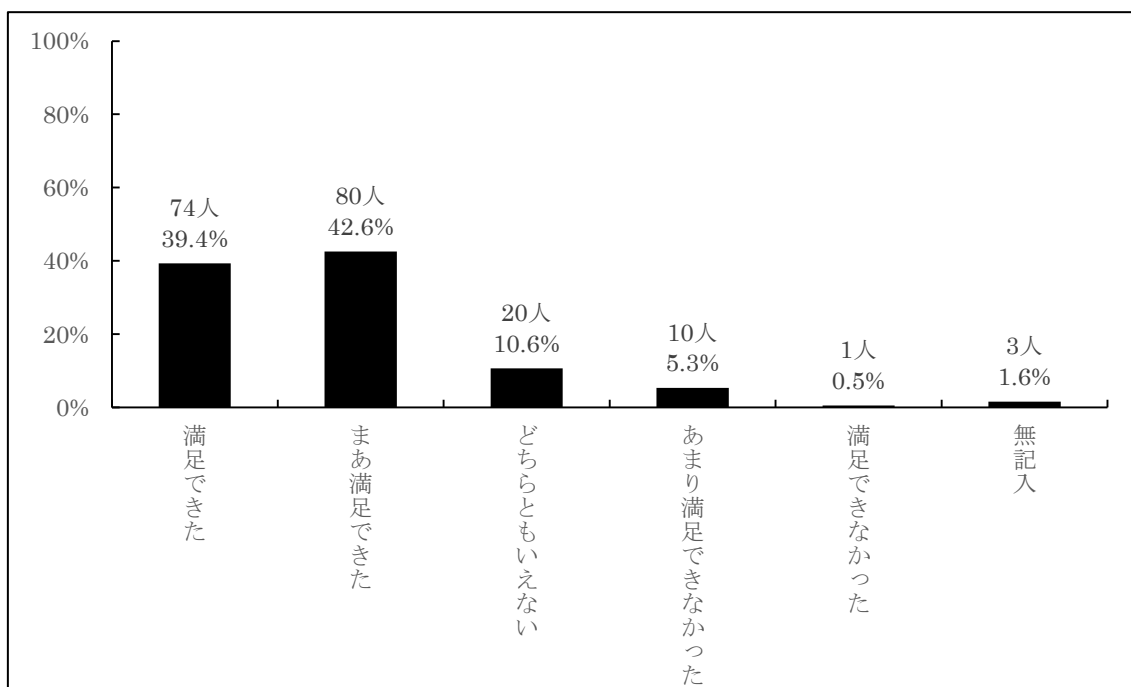


図 14 施設・設備の満足度について

問 21. 本学部・本研究科キャンパスサポート面は満足できるものでしたか

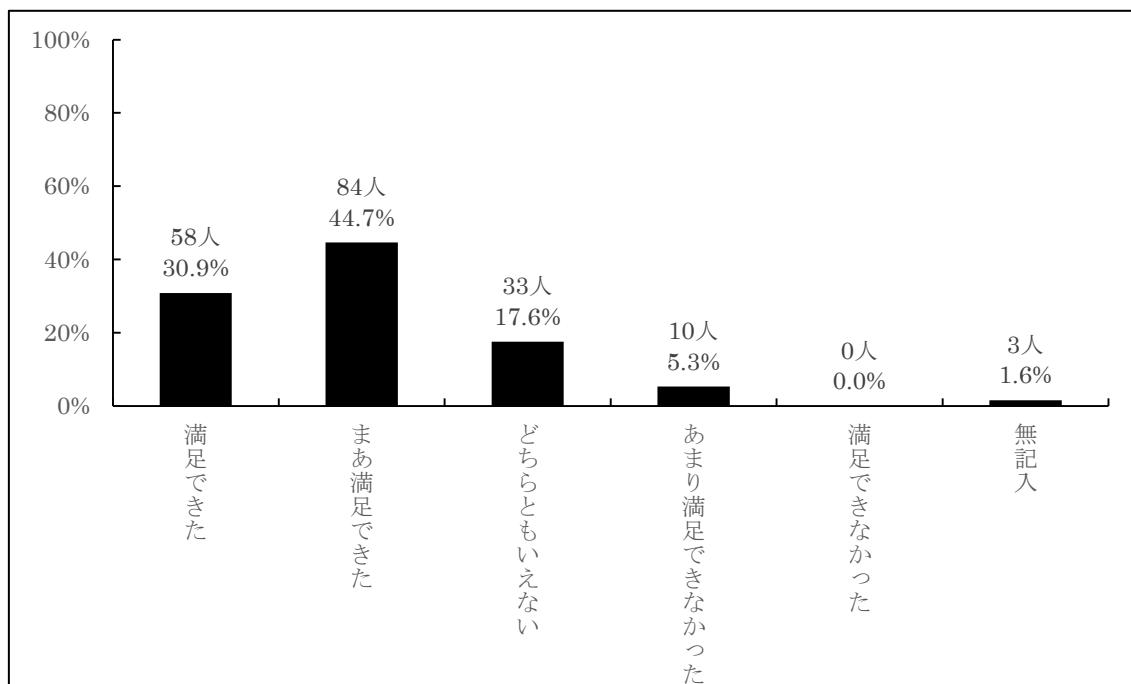


図 15 サポート面の満足度について

問 22・23 は自由記述欄に記入された内容を記す。

問 22 . 本学部・本研究科キャンパスの施設・設備・サポート面で改善して欲しいこと

回答者 44 名

施設・設備についての要望

- 自販機をもともとあった 1 階に設置。インターナショナルのところは土日閉まっ
ていて使えない
- 学食が欲しいです
- 図書館の英語文献は少ないと思う。
- なぜか薄暗い感じがするので特に夜間もっと明るくして下さい
- 夜間も学習できる環境（社会系の学部生は研究室がなく、制約があった）人科用
のメールアドレス。（KOAN の雑多な情報から探しだすのが手間だから）
- カフェを作って欲しい
- トイレが寒い
- 研究室を増やしてほしいです。
- 修了見込み証明書などの証明書類の発行機を 24 時間にしてほしい
- 図書館の開館時間が短い
- エアコンの温度ですが、学生の方で調整できる幅を広くして欲しいです。豊中キ

キャンパスのトイレがもう少しきれいならいいなと思います。

- 図書室、ラウンジ等に以前よりコピー機が増えて助かりました。東館3Fのコピー機も、コイン投入でいつでも気楽に使えるものを増やしていただけると嬉しいです
- 学生が使用できるパソコンと周辺機器のメンテナンス
- 人科図書館でパソコンを増やして欲しい
- スクールバスの運営時間と期間を長くするといいなあとと思います。
- 吹田にもう少し喫煙所を増やして欲しかった。
- 電子計算機室が暗い、寒い。空調等の改善を。
- PC室にプリンターを設置してほしかったです
- 図書はすべて図書館で管理してほしい

サポート面についての要望

- 教務や事務室が開いている日時、曜日等を KOAN で示してあるとよかったと思います。
- 卒業確定単位数などが簡単に分かるシステム
- 事務係の対応の冷ややかさ
- 教員・職員と円滑にやりとりできる体制（メール等への返信）
- 事務の人への学生評価の機会がほしい。
- 無料で印刷できる枚数が少ないと思います。改善して頂きたいです。
- 出張費用の手続きの複雑さ、また振込の遅さ
- 情報発信がうまくなされておらず、はやく情報をキャッチすることができない。
- 授業（の種類）が少ない点
- 学生支援、就職相談の評判があまりよくない
- 卒業要件の単位数についてもっと詳しい説明がほしかった

その他

- 自転車のマナーなど
- もっと卒業判定をわかりやすく！！
- 時々、研究予算として認められないのが理不尽に感じられるものがあつた。

問 23 . 本学部・本研究科に対する意見・感想について

回答者 35 名

- 国際交流支援や、就職支援等、手厚くカバーしておりすばらしかった。
- 4年間ありがとうございました！
- 教員の質を担保して下さい。ハラスメント防止…。
- 勉強できる環境があってよかったです
- 三年間の留学生活楽しかったです。お世話になりました！これからも頑張ります！
- 社会人が入学できる研究科なので夜間の授業がもっとあったり週に1度でも事務が17:00以降開いていると助かります。先生方はもちろん事務職員の方々にも大変お世話になりました。ありがとうございました。
- I'd like Japanese teachers and graduate students to participate to the international students' public defenses more. I'd like professors to introduce part-time teaching jobs and other opportunities not only to Japanese students, but also to international students.
- 吹田での生活は満足しています。様々な面でサポートしていただき、本当にありがとうございました。
- 人間科学研究科で学べて良かったです。素晴らしい先生方、院生たちとの出会いがありました。ありがとうございました。
- 学生支援・就職支援・図書館などの広報だよりを各研究室に配布していただいたりすると身近に感じられて利用しやすくなりそうだと感じました。
- コンビニ近くにほしい
- 充実に送りましたので、いつも親切に応援してくださって本当に感謝しています。
- 法学部出身でしたが、人間科学研究科に来て、マイノリティへの視点や国際的な感覚なども学ぶことができました。他学部にはない特色だと思うので、こうした特色を更に浮きぼりにしていくのがよいかなと思ったりしました。
- 教務の方々がとても親切に対応して下さったのが印象的です。何度もありがとうございました。
- 学生の自主的勉強会がほとんどない。学生が受身になっているように思える
- 心理学を（又は分野を）もう少し、実践的なものを加える（工夫する）ようにすれば良いと思う
- 国際交流室の方や事務（教務）の方々がとてもフレンドリーで、名前をおぼえてくれたので留学生として安心できたしとてもよかったです。
- とても学びやすい環境で非常に満足しています。強いていうなら、教室がせまかった講義があったと思います。また、職員の方が少し怖いと感じました。



平成 29 年 3 月
大阪大学大学院人間科学研究科
大阪大学人間科学部
評価委員会・学生支援室

2016 年度

大阪大学大学院人間科学研究科修了生 及び 人間科学部卒業生の学生生活に関する調査

このアンケートは人間科学研究科・人間科学部を修了/卒業しようとする皆さんを対象に行うものです。皆さんが過ごされた院生生活/学生生活を振り返り、日頃感じていたことを率直にお聞かせください。皆さんのご意見は今後の教育課程・教育内容・就職支援等の改善に役立てます。

あわただしい中で恐れ入りますが、よろしく御協力ください。アンケートは無記名で行います。回答は統計的に処理され、回答者を特定する事はありません。なお、調査結果は集計後、人間科学研究科/人間科学部 ホームページに掲載致しますのでご覧ください。

回答は選択肢の中から当てはまる番号に○印をつけてください。原則として○はひとつですが、質問によってはいくつでも○をつけられるものもあります。選択肢ではなく、空欄に記入していただく質問もあります。

回答したアンケートは、色別に分けて出口で提出してください。



最初にあなた自身についてお教えてください。

問 1

1. 女性
2. 男性

問 2

1. 人間科学部 卒業
2. 大学院人間科学研究科博士前期課程 修了
3. 大学院人間科学研究科博士後期課程 修了

問 3

1. 行動学系 所属
2. 社会学・人間学系 所属
3. 教育学系 所属
4. 共生学系 所属
5. その他 所属

問 4

1. 民間企業 就職内定
2. 官公庁 就職内定
3. 大学院 進学決定
4. 未定
5. その他 (具体的に:)

つぎに、あなたの学生生活または院生生活についてお教えてください。

→学部卒業の方は次の問 5 へお進みください。
大学院修了の方は問 7 へお進みください。

問 5 (学部卒業生のみご回答ください)

あなたは学科目を決める時、十分な情報を与えられたと思いますか。

1. 十分与えられた
2. まあ与えられた
3. あまり与えられなかった
4. 全然与えられなかった

問 6 (学部卒業生のみご回答ください)

学科目を選択した理由は、つぎのどれでしたか (〇はいくつでも)。

1. 入学前から学びたい内容が決まっていたから
2. 入学後に授業で学びたい内容が見つかったから
3. 学科目選択のためのガイダンスで興味をもったから
4. 魅力のある先生がいたから
5. 就職を考えて
6. 楽しそうだから
7. その他 (具体的に:)

問 7 学生生活または院生生活の中で、あなたはつぎの活動について、それぞれどの程度力を注いでいましたか。

	非常に力を注いだ	まあ力を注いだ	どちらともいえない	注がなかった	あまり力を注がなかった	力を注がなかった	該当しない
a. 授業	1	2	3	4	5	6	
b. 卒論・修論・博論	1	2	3	4	5	6	
c. 課題や試験勉強	1	2	3	4	5	6	
d. 就職活動	1	2	3	4	5	6	
e. 資格試験準備	1	2	3	4	5	6	
f. クラブ・サークル活動	1	2	3	4	5	6	
g. アルバイト	1	2	3	4	5	6	
h. レジャー	1	2	3	4	5	6	
i. ボランティアなど	1	2	3	4	5	6	
j. 大学または学部の自治会	1	2	3	4	5	6	

→学部卒業の方は次の問 8 へお進みください。

学部編入された方と大学院修了の方は問 9 へお進みください。

問 8 (編入生を除く学部卒業生のみご回答ください)

「専門基礎教育科目」(統計学A-I、統計学A-II、数学A、数学B)はカリキュラムとして必要だと思いますか。

1. 絶対必要である
2. まあ必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要でない

問9 卒業する為に、卒業論文または修士論文が必要になっていることについてどう思いますか。

1. 絶対必要である
2. まあ必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要でない

問10 本学部または本研究科で身に付いたことは何ですか (〇はいくつでも)。

1. 専攻分野の専門的な知識
2. 専攻分野以外の専門的な知識
3. 一般教養
4. 語学力
5. IT スキル
6. 仕事に役立つ実践的な知識・技能
7. 対人関係を調整する能力
8. ものごとを柔軟に考える能力
9. 社会的弱者に対する深い理解
10. 国際感覚と異文化に対する理解
11. その他
(具体的に：)

問11 本学部または本研究科でもっと身に付けられると良いと思うことはどれですか (〇はいくつでも)。

1. 専攻分野の専門的な知識
2. 専攻分野以外の専門的な知識
3. 一般教養
4. 語学力
5. IT スキル
6. 仕事に役立つ実践的な知識・技能
7. 対人関係を調整する能力
8. ものごとを柔軟に考える能力
9. 社会的弱者に対する深い理解
10. 国際感覚と異文化に対する理解
11. その他
(具体的に：)

つぎにインターンシップについてうかがいます。

問12 在学中、インターンシップに参加しましたか (自主開拓も含めてお答えください)。

1. 参加した
2. 参加しなかった

→参加した方は問13へお進みください。
それ以外の方は問14へお進みください。

問13 (参加した方のみご回答ください)
いつ参加しましたか (〇はいくつでも)。

1. 一年次、二年次
2. 三年次
3. 四年次
4. 修士一年次
5. 修士二年次
6. 博士一年次、二年次、三年次

つぎに就職活動についてうかがいます。

→在学中に、就職活動をされた方は次の問14へお進みください。
それ以外の方は問18へお進みください。

問14 就職活動にあたって、役に立った(重要だった)ものを次の中から順に2つ選んで、番号を記入してください。

1 番目 () 2 番目 ()

1. 学内の友人との情報交換
2. 学外の友人との情報交換
3. 人間科学部卒業生からの情報
4. クラブ・サークル等の先輩からの情報
5. 家族や親戚からの情報
6. インターンシップ
7. 学内でおこなわれた企業説明会
8. 学外でおこなわれた企業説明会
9. リクナビなどの就職情報サイト
10. その他 (具体的に：)

問15 就職活動が一番忙しかった時期はいつですか。

西暦

2	0		
---	---	--	--

 年

--	--

 月頃

問 16 就職活動と学業の両立に困難を感じましたか。

1. 強く感じた
2. やや感じた
3. あまり感じなかった
4. ほとんど感じなかった

就職活動・進路指導・学生支援に対する要望
についてうかがいます。

問 17 就職活動や進路決定を振り返ってみて、本学部・本研究科にどのような支援があればよいと思いますか(特に、首都圏・地方での就職活動、公務員試験の準備に関する意見をお持ちの方)。

問 18 就職活動以外の面で、本学部・本研究科にどのような学生支援があればよいと思いますか？

本学部または本研究科に対する総合的な意見
についてうかがいます。

問 19 総合的に判断して、本学部または本研究科は満足できるものでしたか。

1. 満足できた
2. まあ満足できた
3. どちらともいえない
4. あまり満足できなかった
5. 満足できなかった

問 20 本学部・本研究科キャンパスの施設・設備は満足できるものでしたか。

例) 講義室・図書室・サイバーメディア室等

1. 満足できた
2. まあ満足できた
3. どちらともいえない
4. あまり満足できなかった
5. 満足できなかった

問 21 本学部・本研究科の学生サポートは満足できるものでしたか。

例) 事務・学生支援・就職支援等

1. 満足できた
2. まあ満足できた
3. どちらともいえない
4. あまり満足できなかった
5. 満足できなかった

問 22 本学部・本研究科キャンパスの施設・設備・学生サポートで、改善して欲しいことがあれば具体的に記入してください。

問 23 人間科学部・人間科学研究科に対するご意見・ご感想ございましたら、ご自由にお書きください。

アンケートのご協力ありがとうございました